

大切なもの

柳原 昭三

僕が、「大切なものって何があるだろう」を考えると、日常的に使っているものの中しか思いつかなかったです。

1つ目は、やっぱり僕の足になってくれている電動車いすです。もし、電動車椅子が世の中になければ、僕は自由に行動ができなくなるからです。自力で移動をすると少しの距離でも大変です。電動車いすを開発した会社は、すごい人たちがいると思います。改めて電動車いすに僕の足になってくれてありがとうと言いたいです。

2つ目は、僕にとって便利なもので離せないものは携帯電話です。友達とメールで話します。詩とか文章つくる時は携帯が欠かせないものになっています。あと、一人で電車に乗る時に、携帯がすごく便利です。行き先の駅を携帯に入れば駅員に見せれば、行き先の駅に連絡してくれます。言語障害がある僕にとって、携帯がますます離せないものになっています。



★ 特集 ★  
大切なもの



短歌

— 思いやりの言葉とは何？桜の花に  
聞いてみたい今の気持ち  
— 新緑を眺めながらこれからの  
わが生き方曲げたくないと思う

竹内 桃子



# とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班  
〒187-0033 小平市叫島町3-8  
TEL 042(349)2366 kaze@asayake.or.jp  
<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.304  
2017年5月20日

## 一番大切な物

亀井 賢太郎

僕が一番大切な物(人)は姉です。姉は母が亡くなってから、25年間ずうっと僕の面倒をみてくれています。母の代わりに良くやってくれていて、本当に有りがたいなと思っています。僕はこの場を借りて、姉に有り難うと言いたいです。

もし姉がいなかったら、僕はどうなっていたか分かりません。何処かの施設に入れられて、かなり厳しい生活になったのではと思います。こんなに長生き出来ていないし、いじめにもあったと思います。今の暮らしが出来ているのも、姉がいるから出来ていると感じています。僕が少しでも具合が悪くなった時は、すぐにお医者さんに連れて行ってくれます。いい姉で良かったと思います。でも怖い一面もあって厳しいところもあります。

これからは無理を言わず、大事にしていこうと思っています。我慢すべきところは我慢をして、なるべく姉には迷惑を掛けないようにして行きたいと思っています。本当に僕はなんて幸せ者なのでしょうか!!

## 大切にしたい

竹内 桃子

私の家族の、高齢の母と妹です。私の宝物みたいなものは、十代の頃から、書き続けている短歌があります。第一短歌集(桃花の頃)第二短歌集「生きる証」を自费出版しました。今まで何度もやめようと思いましたが、でも、「継続は力」という言葉を思い出して、趣味活動としてやってきました。

手足が不自由ですから、他人の手伝いがなくても、気遣いしなくても良いので、約45年くらい、継続できた要因の一つだと思います。目標は第三短歌集を制作することですが、現在は、パソコンで短歌を書きためています。

短歌は、私にとっては生きてる証明だと思います。この何年間は、いろいろと忙しく、心が重かったり、歌心がなかなか湧いてこなかったり、1ヶ月に1回の短歌会の締め切りが迫ってくると、ようやくやる気がでるのです。

もっと、社会的な問題や、生活で感じたこと等を短歌にしたいです。これからも短歌作りに、励みたいです。